

令和6年度 第1回検討会 委員からの意見と対応方針

大分類	小分類	意見	委員	回答・対応方針案
現状や将来の動向	観光	・観光協会としては調布のことをあまり知らない方に自転車で行けるので行ってみませんかというアナウンスをしているため、「シェアサイクルなどの環境創出による観光客の移動ニーズの創出喚起」を課題として考えている	大前委員	・取り組みとして追加し、課題に反映する
	安全安心	・自転車通行空間の整備済み路線であっても事故が発生しているが、それでも自転車通行空間を作るということについて説明が必要である ・事故発生理由がわかれば対策としてイメージがしやすいと考える	鈴木副会長	・事故増加の原因は車両という認識が浸透し、事故を起こしたら通報するようになったためと考えられる ・最新値では減少に転じている
		・事故について具体的な場所の特定や、どのようなパターンで事故に至ったなど精査が必要である ・自転車ネットワークとの因果関係があるかないかは確認しておくべき	兵藤会長	
		・事故の増加は保険適用のために申請が増えたのではないかと推測する ・本当に事故が増えたのか申告が増えたかによって見方が変わるので確認いただきたい	本間委員	
		・電動アシスト車の事故対策も考えほしい	風間委員	・事故対策を確認し、施策に反映させる
計画目標、基本方針	-	・調布市の街自体をどうしたいのかというところで、自転車をどう活用されるのかという観点が必要	髙田委員	・上位関連計画における、本市の目指す将来像を整理し、そこに向けた計画目標を設定する
		・公共交通との連携が大事で、将来自転車もバスも使えるようなことを書いたほうがよい	鈴木副会長	・基本理念として利用促進と適正利用のバランスをとることを示す
施策の方向性	都市環境	・ある程度乗車効率が担保されている部分までバスを運行し、それ以降の部分は自転車でカバーするというのが、今の運転士不足の現状を考えると交通網としての在り方としては理にかなっている ・課題としてはバス停の整備環境で、土地提供などいろんな方に協力が必要であるが、結節点としてのバス停と駐輪場の整備を推進していければよい	三浦委員	・施策を検討する際の参考とする
		・東急バスでは競合と考えられていたシェアサイクル事業も実施し、ラストワンマイルをシェアサイクルが埋めることでマイカーからの転換を狙っている ・朝霞市のアンケートではシェアサイクル利用により6割の人が外出が増え、出かける機会が増加することでシェアサイクルからバスへの転換も発生し、相互利用の相乗効果を発揮している ・葛飾区では区内の13箇所にサイクル&バスライドの整備をしている 公共交通との連携についてこれらは参考になると考えられる	本間委員	
		・三鷹市にサイクルアンドバスライドの事例がありこれらも参考になると考えられる	相田委員	
	観光	・いわゆる自転車乗りは聖地巡礼的に東京2020大会の競技コースを訪れており、国としても日本の魅力をサイクリングで発信する施策を実施しているため、レガシーロードは積極的にPRすべきである	森田委員	・施策を検討する際の参考とする
	安全安心	・「とまれ」を遵守するなど、自転車利用の再教育が必要と考える	森田委員	・施策を検討する際の参考とする
		・ヘルメット着用については愛媛県の取り組みが参考になる ・ヘルメットはシェアサイクルでも必要ではないか	森田委員	

